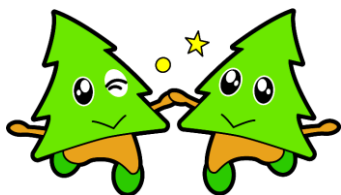


あきたスギッチファンド通信

No. 13 2013年2月20日発行



特定非営利活動法人
あきたスギッチファンド

TEL 018-839-8941

FAX 018-829-5803

e-mail madoguchi@sugicchi-fund.jp

<http://www.akita-kenmin.jp/akita-npo-fund/>

ファンドの受取状況

(24年4月～25年1月)

本ファンド	
団体寄付	3,033,958 円
個人寄付	406,895 円
合 計	3,440,853 円
分野指定	
東日本大震災支援	52,823 円
自殺予防	329,140 円
合 計	381,963 円
総 合 計	3,822,816 円



写真 上：あきた満開地産地消まつり
下：こだわり新鮮市場 in アルヴェ

あきたスギッチファンドは確かに認定 NPO 法人という信認が得られましたが、それを寄付の増大に結びつけるにはまた一層の努力が必要になります。

あきたスギッチファンドが最近連携しているのが、地産地消をすすめる団体です。

11月23～25日イオンモール秋田1階セントラルコートで「あきた満開地産地消まつり」が開催されました。秋田県内全域から農産物、酪農品、お菓子などの食品、手作り作品、花、被災地アンテナショップからの出品など、多彩な品々が販売されました。珍しい催しにお客さんが続々集まり、まさに満開の盛況でした。出店した団体からは売上の一部がスギッチファンドに寄付されました。

10月20日、11月4日、11日には、「こだわり新鮮市場 in アルヴェ」が秋田駅東口に隣接する秋田拠点センターアルヴェの屋外きらめきコートで開催されました。10台以上の軽トラックが並び、新鮮な野菜、山菜、果物などが販売されました。アルヴェ内の行事に来た人たちが大勢寄ってくれました。市場に参加した業者からはスギッチファンドに寄付金を頂きました。

このような催物は来年度も継続したいと考えております。ぜひ皆さんも訪ねてみて下さい。またいろいろなアイデアをお寄せ下さい。

(菅原 展子)

東日本大震災避難者支援応援ファンド 第三次助成

東日本大震災で被災し秋田県内に避難されている方々への様々な支援活動、あるいは被災地から秋田へ招いて支援する活動を実施する NPO・ボランティア等の市民団体の事業に助成するためにと、秋田県からあきたスギッチファンドに、平成23年度、24年度合わせて交付金 13,315,000 円が提供されました。

3月10日行われた第一次助成では、30万円コース3団体、50万円コース3団体、100万円コース3団体、総額540万円の助成事業を決定しました。6月24日行われた第二次助成では、10万円コース1団体、30万円コース1団体、50万円コース2団体、100万円コース3団体、総額440万円の助成事業を決定しました。

第三次助成では、9月9日～30日まで10万円コース5団体、30万円コース5団体、50万円コース1団体の募集を行いました。30万円コースに2件の応募に止まりました。10月21日公開ヒアリング方式で審査した結果、1件が採択されました。事業期間が交付決定の翌日から2月10日までと短期間のため、応募事業が限られてしまったものと思われます。

今年度の助成はこれで終了となりますが、一次から三次まで合わせて17団体、1,010万円の助成を実施することができました。未だ事業継続中という団体もありますが、助成金が有効に活かされることを期待します。

30万円コース

募集5団体に対し2件の応募があり、1団体を採択

団体名	事業名、事業概要
NPO 法人角館総合型地域 スポーツクラブ	<p>東日本大震災仙北市在住者に交流の場を提供する事業</p> <p>当クラブの無料の休憩所を、仙北市内に避難してきている被災者の方たちが、使い易いような環境に整備する。また、地元の方々と交流の機会を設ける。</p> <p>具体的内容としては、パソコンを3台設置する。パソコンは避難者が離れて暮らす家族等と連絡を取るために利用できるし、またパソコンの講習によってスキルアップを図り、後の求職活動に活用できる。</p> <p>10月から12月まで月1回、地域の方と避難者の方の交流会を開催する。避難者同士、また地域住民との交流により元気になること</p>

第8回（2012年度第2回）助成先決定

秋田スギッチファンド第8回助成事業は、11月10日から12月12日まで募集を行いました。募集件数は、本ファンド10万円コース5件、30万円コース4件、50万円コース1件に対して、それぞれ9件、7件、4件の応募がありました。また東日本大震災の被害にあった子どもたちを対象とした支援事業に助成する冠ファンド三国こども支援ファンドは、募集件数10万円コース3件、30万円コース2件、50万円コース1件に対して、それぞれ1件、2件、1件の応募がありました。審査委員には年末年始の忙しい中書類審査をお願いしました。その結果を踏まえて、1月20日遊学舎で審査委員会を開催しました。

最初に、東日本大震災の被害にあった子どもたちを対象とした支援事業に対して助成する冠ファンド三国こども支援ファンドのプレゼンテーションを行った後、別室でその審査と本ファンド10万円コースの審査を行いました。午後に30万円コース、50万円コースのプレゼンテーション、そしてその審査を行い、4時過ぎに助成先を発表しました。

本ファンド 10万円コース

募集5団体に9件の応募があり、4団体を採択

団体名	事業名、事業概要
ぽこ・あ・ぽこ (横手市十文字町)	自閉症児者ふれあいサマーキャンプ (スマイルキャンプ) 障がいのある子どもたちが楽しみながら自分の能力を伸ばせるように、体操、音楽、感覚統合療法などを取り入れて、宿泊・デイキャンプなどを行う。活動を通して様々な体験をすることで、子どもたちに成長の機会を与え、精神的な自立を促す。
NPO 法人 あきた花咲く教師力ネット (秋田市山王)	親と教師のための発達障害指導力アップセミナー 教師や保護者を対象に、発達障害の子どもへの対応の仕方を学び、発達障害について理解することを目的に、秋田市、大館市、湯沢市の3カ所で研修会を開催する。教師の教育技術の向上と保護者の子育てに関する不安感や負担の軽減につながることを目指す。
はっぴーすまいるまま・秋田 (秋田市山王)	はっぴーすまいるまま! 「親子ふれあいサロン」 子育てをする家族を対象に、県内各地で月に1回「親子ふれあいサロン」を開催する。ふれあいサロンでは、手遊び、うた遊び、ベビーマッサージ、赤ちゃんヨバ、チャイルドマッサージ、チャイルドヨガを行い、親子の時間を大切にしてもらう。
こしゃぐまげでわりんしの会 (湯沢市関口)	高齢者サロンの設置事業 高齢者が外に出て、思いっきりおしゃべりをしたり、楽しめるサロンが求められている。高齢者が自由に集まり交流できる場所を開設し、お茶を飲みながら、歌や特技など芸事を披露したり楽しんだりする発表会も開催する。高齢者の生きがいになるし、介護予防にもなる、地域の元気にもつながる。

本ファンド 30万円コース

募集4団体に対して7件の応募があり、うち書類審査を通った6団体がプレゼンテーションを行い、その中から3団体を採択

団体名	事業名、事業概要
AKITA アマチュア DE ナイツ 実行委員会 (秋田市大町)	第3回 AKITA アマチュア DE ナイツ 秋田県内に埋もれている若手パフォーマーの才能を発掘・育成し、舞台にて発表する機会を設けることで地域の文化力を高め、パフォーマーを多方面のメディアやイベント主催者等に紹介している。今回は「国民文化祭」の県民参加事業として行う「AKITA アマチュア DE ナイツ」のグランド大会の予選として「第3回 AKITA アマチュア DE ナイツ」を開催する。
特定非営利活動法人 あゆみの会 (由利本荘市岩谷町)	こめ粉並びに畑作生産物を応用した製麺事業 製麺機を購入し、団体が運営している障害者小規模作業所で作っている材料を使った「こめ粉」入りパスタ及び「こめ粉うどん」を製造販売する。これによって障害者小規模作業所を利用している障害者の賃金向上に努める。
おおだて de 子育て (大館市御成町)	子育て情報の発信 & 夏休み親子フェスティバル 毎月大館市で開催される親子向けのイベントを掲載したイベントカレンダーを発行する。またWEBサイト「おおだて de 子育て」でも、イベント情報、幼稚園、小児科、育児サークルなどの情報を発信する。 夏休み開始後の一週間、大館樹海ドーム隣の「パークセンター」で、親子向けのイベントを開催し、夏休み中に親子で集える拠点を作る。

本ファンド 50万円コース

募集团体に対して4件の応募があり、うち書類審査を通った2団体がプレゼンテーションを行い、その中から1団体を採択

団体名	事業名、事業概要
NPO 法人 花と風のまち・ネット (秋田市八橋)	<u>草生津川ふれあい公園づくり (仮称「お台馬公園」)</u> 草生津川河川敷内の未使用雑草地を多目的公園として整備し、地域の豊かな自然環境、歴史文化、八橋油田などを生かした学習・交流・観光拠点として活用する。この公園を拠点として、市民協働による地域づくり、観光振興による地域の活性化を図る。

三国子ども支援ファンド

10万円コース

募集3団体に対して1件の応募があり、1団体を採択

団体名	事業名、事業概要
ちっちゃいもの倶楽部	<u>皆の農場 Café の日</u> 「野外料理」「自然素材のもの作り」「馬とのふれあい」「馬堆肥の畑づくり」を通じ、おしゃべりの機会を設け、大仙市に長期避難している被災者の交流と癒しの場を創造する。

30万円コース

募集2団体に対して2件の応募があり、1団体を採択

団体名	事業名、事業概要
特定非営利活動法人 元気秋田応援隊 (能代市豊祥岱)	<u>雪遊び親子スキー体験ツアー</u> 現在、避難者と地域住民との交流を目的としたサロンを能代市に開設している。今回サロンを飛び出して秋田の雪に触れ、親子が心から楽しんでもらえるよう、太平山スキー場での雪遊びスキー体験ツアーを行う。大館地区、能代地区、秋田地区から参加できるように集合場所を決めてバスで送迎する。

50万円コースについては、募集1団体に対し1件の応募がありましたが、採択されませんでした。

～第7回スギッチファンド助成事業の中から～



左:高性寺 JAZZ IMPRESSION Vol.6

10月20日五城目町高性寺境内で実施

上:大地の会によるボランティア研修会(学習と実践) 三角巾を使って応急処置を学ぶ